

パブリック・コメントの意見要旨と市の考え方について

A:意見(又は意見の一部)を反映し、素案を修正した
 B:既に素案で対応済み
 C:素案の修正はしないが、実施段階で参考にする
 D:意見を反映できなかった
 E:その他

No	該当箇所	素案のページ	意見要旨	市の考え方	反映
1	1 計画策定の背景	P1	この計画が、今後10年間の設定であることを考慮すると、未来を推察する視点での現時点の社会的動向や第3次との違いについての記述が必要だと思う。 例えば、「男は仕事、女は家庭」の固定的性別役割分担意識があげられる。確かに慣行や制度は残っているが、若い世代の意識は、多くの調査で、すでに性別役割分担意識は変化しているし、ここ2、3年の若い世代の意識や主張は急速に変化しつつある。この課題は基盤的な課題ではあるが、現状の変化を捉える必要がある。	社会的動向については、ご意見を踏まえ、9行目「…とそれに基づく社会制度や慣行が依然残っており、」の後に「若い世代を中心に意識は変わりつつありますが、」を加筆します。 また、第3次の現計画との違いについては、P13「計画の特徴」及びP18、19「計画の体系」に重点事項や新規事項を明記しているため、素案のとおり記述しています。	A
2		P1	「近年頻発している地震や集中豪雨などの災害時に男女共同参画の視点を取り入れた女性の参画の重要性が認識された。」とあるが、「男女共同参画の視点を取り入れた」が次の「女性」の形容詞になっている。	ご意見を踏まえ、13行目を「また、近年頻発している地震や台風・集中豪雨などの災害時の避難所運営に、男女共同参画に視点を取り入れるため、地域の防災活動に女性の参画の重要性が認識されました。」に修正します。	A
3		P1	重要性が認識されたのは、P36にあるように、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営等防災活動であり、そのため、地域防災会議や日頃の防災活動に女性の参画が必要だと思う。		A
4		P1	新型コロナウイルス禍に対する課題や対応について、市の基本的考え方を示した方がいい。	ご意見を踏まえ、17行目「国においては、…」の前に下記のとおり加筆します。	A
5		P1	今回のコロナ禍は、すでに大きな社会的な変化をもたらしつつあり、内閣府も第5次基本計画に反映する「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」を立ち上げた。女性の就労、暴力、災害、防災対策、デジタル化など越谷市も今後の政策立案に大きな影響があると予測できる。コロナ禍の現状と課題を記述し、今後計画の見直しも見据えた記述が必要だと思う。	さらに、令和2年(2020年)に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活不安・ストレスからのDVや性暴力の増加のほか、女性を取り巻く就労環境の悪化や、経済的困難に陥る家庭の増加、子育てや介護等の負担増加が懸念されています。男女共同参画の視点を取り込みつつ各種対策を実施することが重要です。	A
6	2 男女共同参画政策をめぐる動向	P2	国際的な取り組みにSDGsの取り組みがあるが、越谷市の政策にどのように反映されているか見えてこない。	P18.19「第4章計画の内容」、「1 計画の体系」にSDGsの取り組みを追記します。	A

パブリック・コメントの意見要旨と市の考え方について

A:意見(又は意見の一部)を反映し、素案を修正した
 B:既に素案で対応済み
 C:素案の修正はしないが、実施段階で参考にする
 D:意見を反映できなかった
 E:その他

No	該当箇所	素案のページ	意見要旨	市の考え方	反映
7	2 男女共同参画政策をめぐる動向	P2	「第64回国連女性の地位委員会」についての記述は、UN WOMEN日本事務所の報告を参考にしてほしい。	ご意見を踏まえ、17行目「北京行動綱領」の後から「第4回女性会議」の前までを「完全な実現に向けて取り組みを強化する」と修正します。	A
8	3 越谷市のこれまでの取り組みと今後の課題	P8	(5)政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進の今後の課題では、審議会しか挙げられていない。政策・方針決定の場合は、審議会だけではないので、もっと総括的に取り上げた方が良い。	政策・方針の決定過程においては、政治、企業、行政などさまざまな分野における男女共同参画の推進が必要です。今後の課題にある、「政策・方針の立案等の決定過程における女性」とは、審議会だけでなく、さまざまな分野における人材を含めているため、素案のとおり記述しています。	B
9	3 越谷市のこれまでの取り組みと今後の課題	P8	【今後の課題】 「政策・方針の立案等の決定過程における女性の能力を高めるため、…」の部分について 政策・方針の立案等の決定過程における女性の参画を推進するためにも、女性のエンパワメントが必要だと思う。	今後の課題を下記のとおり修正します。 政策・方針の立案等の決定過程における女性の参画を推進するためには、女性のエンパワメントが重要です。そのため、さまざまな情報を提供するとともに、女性の人材育成や登用により積極的に取り組む必要があります。	A
10	施策の方針2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進	P25	小学生低学年からの性教育の充実が必要。お互いの体が、かけがえのないものだということをきちんと知ってほしい。	小学校低学年においては、道徳、学級活動、生活科、学校行事などで「性に関する指導」を行っており、担任だけでなく、養護教諭との連携や関係機関からゲストティーチャーを招いた指導等にも取り組んでおります。	E
11		P26	(1)学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進 「主な取り組み」に、小学校低学年における「プライベートゾーン」の理解・認識の徹底を追加してほしい。	小学校中学年の保健教育で「体の変化」について学習しますが、低学年でも道徳、学級活動、生活科、学校行事などで「性に関する指導」を行っております。また、「プライベートゾーン」についてもむやみに他人に見せないことなどの指導をしています。 この施策の主な取り組みのみを記載させていただいたため、素案のとおり記述しています。	D
12	施策の方針3 女性の活躍の推進	P27	審議会の女性参加が少ないのは、とっつきにくい雰囲気のせいだと思う。書類が多く読むのが大変なのでもう少し簡略にしてほしい。	ご意見として承りました。 また、わかりやすい資料作成に全庁的に努めてまいります。	C

パブリック・コメントの意見要旨と市の考え方について

A:意見(又は意見の一部)を反映し、素案を修正した
 B:既に素案で対応済み
 C:素案の修正はしないが、実施段階で参考にする
 D:意見を反映できなかった
 E:その他

No	該当箇所	素案のページ	意見要旨	市の考え方	反映
13	(1)女性の人材育成と審議会等への登用の推進	P29	越谷市の男女共同参画計画が、最も政策的に目標値達成が出来なかったのは、「越谷市の行政職の職員のうち管理職における女性職員の割合」だと思う。計画策定当初の女性登用の困難を鑑みて越谷市の条例では、積極的格差是正措置が記されている。積極的格差是正措置の導入と計画的な政策プランを立案してほしい。	市全体の管理職員の女性割合については、越谷市特定事業主行動計画において令和3年4月1日時点で20%以上と定めており、令和2年4月1日時点で19.2%と計画どおりに進んでおります。 市では、女性職員を対象として、政策方針の決定過程に参画できるように、意識の向上等を図ることを目的とした「エンパワーメント研修」を実施し、女性職員の能力開発やキャリア形成支援に取り組んでおります。また、管理職試験の受験機会の拡充や、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ることにより、管理職を目指す意識を持ってもらえるよう取り組んでおります。今後も、こうした取組を継続し、女性職員の管理職への積極的な登用に努めてまいります。ご意見については、今後の事業実施において参考にさせていただきます。	D
14	施策の方針7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援	P41	新型コロナウイルス禍に対する課題や対応について、市の基本的考え方を示すべきである。	ご意見を踏まえ、P1に下記のとおり加筆します。 さらに、令和2年(2020年)に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活不安・ストレスからのDVや性暴力の増加のほか、女性を取り巻く就労環境の悪化や、経済的困難に陥る家庭の増加、子育てや介護等の負担増加が懸念されています。男女共同参画の視点を取り込みつつ各種対策を実施することが重要です。	A
15	施策の方針7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援	P41	DV対策基本計画をその一部として、性犯罪、性暴力、ストーカー行為、セクシュアルハラスメント、人身取引など、あらゆる暴力の根絶について包括的な目標とすべきである。	基本目標Ⅳ「男女共同参画社会を阻む暴力の根絶」は、DVやデートDV、性暴力、ストーカー行為などあらゆる暴力の根絶を目標としています。関係行政機関と連携を図りつつ、相談や啓発活動の推進に努めてまいります。	B
16	施策の方針7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援	P41	「近年では、女性に対する暴力は多様化しており、交際相手からのDVや性暴力などの新たな形の暴力にも適切に対応していく必要があります。」とあるが、性暴力はけして新たな形の暴力ではないのではないか。	ご意見を踏まえ、16行目「新たな」を削除します。	A

パブリック・コメントの意見要旨と市の考え方について

A:意見(又は意見の一部)を反映し、素案を修正した
 B:既に素案で対応済み
 C:素案の修正はしないが、実施段階で参考にする
 D:意見を反映できなかった
 E:その他

No	該当箇所	素案のページ	意見要旨	市の考え方	反映
17	施策の方針7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援	P41	指標「DV防止啓発のための講座等の開催」は、年1回とはせず、その都度、自治会の回覧板にのせてほしい。	施策の方針7の指標のひとつとして、「DV防止啓発のための講座等の開催数」を指標としております。DV防止の啓発として、講座の開催や暴力をなくす運動などの取り組みを行い、ホームページやシテメールなどで広報しています。また、相談窓口案内カードやポスターを市内の公共施設及び商業施設、鉄道駅の女性用トイレに設置するなど、相談窓口の案内にも努めてまいります。	C
18		P43	(1)啓発活動の推進 「主な取り組み」に、わいせつ行為に及んだ教員や保育士等に対する厳正な処分を追加してほしい。	職員の不祥事に対する懲戒処分に関しては、地方公務員法に基づき、厳正に対処することとしております。このため、啓発活動の推進の取り組みに明記することは考えておりません。 なお、防止対策として、校長会等において、県の教育委員会の不祥事根絶の取り組みに準じて指導しています。また、各学校においても県主催の「教職員事故防止強化運動(4/1～4/30、9/1～11/30)」や市主催の「事故ゼロ運動(4/15～5/17)」等、啓発活動を行っています。	D
19	その他		「ジェンダー統計について」 今回の計画には、多くの図表や統計が記載されています。固定的性別役割分担意識などの基盤的な課題であっても、常套句とせず、現状の変化を捉える必要があります。変化を捉えるところから、施策を立案させるのだと思います。特に国の平均ではなく、越谷市のジェンダー統計が必要です。昨年からはと越谷が取り組んでいます。越谷独自のジェンダー統計を事業として位置付け、計画案に活用してください。	市政世論調査において、毎年、男女共同参画に関する調査・分析を行っています。第4次計画策定にあたり、これまでの調査結果をもとに、男女共同参画推進員部会において調査結果の分析を行い、これをもとに原案を作成しています。 ご意見については、今後の事業実施において参考にさせていただきます。	C
20			今回、多くの用語解説が加わったことは、理解を深めると思う。 1)いくつかの表現に「のこと」と付け加えてあるが必要か。 2)明らかに様々な解釈がある用語には、出典が必要。 3)用語の解説、これだけの解説にいうえお順が必要か。用語(語彙)と法律の説明は分けた方が良くと思う。	1)「のこと」は、削除します。 2)、3)は、ご意見として承りました。	A D
21			男女別姓がなぜ叫ばれているかを市民に考える時間と問題提起をしてほしい。	ご意見については、今後の事業実施において参考にさせていただきます。	E